

受付No.

2026年度 瀬戸内海地域振興助成（新規・若手助成）

公益財団法人 福武財団 理事長 福武英明殿
募集要項に則り、本応募用紙に記載した通り、標記助成に応募いたします。

＜団体プロフィール＞

事業名	●●プロジェクト					
団体名	特定非営利活動法人●●					
住所	〒	761-3110	住所	香川県香川郡直島町2249-7		
団体区分	NPO法人(選択式)		活動ジャンル	祭り、伝統芸能(選択式)	スタッフ数	10名
代表者氏名	フリガナ ナオシマ タロウ		役割	代表理事	年代	30代後半
	直島 太郎					
団体URL1	公式ホームページのURL					
団体URL2	facebook Instagram など					

＜実務担当者（実働の中心的な代表の立場の方）＞ 1990年4月1日以降にお生まれの方が対象です↓

実務担当者氏名	フリガナ ナオシマ ジロウ	役割	例：神輿担ぎ手取りまとめ役	生年月日	1990年4月1日
	直島 次郎				

ご記入いただいた実務担当者（実働の中心的な代表の立場の方）の団体内での具体的な役割や、日常的に従事している業務内容について詳しくお書きください。
※記載内容をもとに、当該担当者が実働の中心人物であるかを確認いたします。

例）神輿担ぎ手のリーダー的存在として、チーム全体の士気を高められるように声掛けをする。事務周りでは、練習のスケジュールや、参加メンバー調整を行っている。

このメールアドレスは、最初に申請登録時入力されたアドレスが自動挿入されます。登録は出来る限り「実務担当者」欄に記載される方のメールアドレスをご入力ください。※実務担当者と申請者（申請書ご記入者）が必ずしも同一でなければならないことはありませんが、財団との今後の連絡の都合上、同一の方がスムーズかと思われます。

連絡先	e-mail	mail@fukutake-grant.jp	電話番号	090-0000-0000	
住所	〒	761-3110	住所	香川県香川郡直島町2249-7	

＜福武財団の助成実績＞

助成を受けて活動した年度
継続申請のみ、過去に助成を受けた年度をお選びいただけます。

＜外部協力者の状況＞ 個人の方は居住地、団体は団体所在地をご記入ください。活動地域内外の関係者との協力体制を拝見いたします。

氏名	年代	組織名	所在地（市町村まで）	協力内容（できるだけ具体的に）
直島 三郎	70代前半	直島町民	香川県香川郡直島町	自治会長。協力者の紹介や歴史文化について指導いただく。
地中 四郎	50代前半	●●大学	香川県高松市	専門家の立場からプロジェクトのアドバイスをいただく。

<活動の内容について>

1. 活動の沿革
(活動発足から現在までの経緯をご入力ください。今回の申請事業がいつから開始したかを必ずお書きください。)

活動年数 ○○年 (選択式) ← 設立年から現在までの年数をお選びください。

年 (西暦) 月	活動内容
設立：例)	団体の設立年月日は必ず記載してください。
2011年	団体設立、××事業を始める
2013年	××事業を終了し、次の事業について検討
2014年	今回の申請事業である●●プロジェクトスタート、現在に至る。
	(スペースが限られていますので、決められた行数内で記入して下さい。)

2. 団体の活動の概要

今回の申請事業に限らず、どのような活動をされている団体なのか記入してください。

3. 主な活動対象となる場所はどこですか？ その場所の特色や課題はどのようなものですか？

活動エリア	香川県 香川郡直島町
活動エリアの特色 (歴史、文化、地域性、魅力など)	活動している地域の特色を記入してください。 例： ・直島諸島では古くは卑弥呼の時代から塩が作られており、昭和の時代まで続き、製塩は直島の産業の一つであった。 ・「現代アート島」と呼ばれており、特に海外からの観光客が多い。
活動エリアの課題 (まず初めに、活動エリアにおける課題を簡潔にご記載ください。続けて、その課題の背景や詳細について、できるだけ具体的にご記入ください。)	現在活動している地域で課題と認識している内容を記入してください。 例： 直島町の地域課題は、人口減である。 昭和40年には人口6,000人を超えていたが、平成27年には3,000人余りにまで減少。このような人口の減少は離島から離れより便利な暮らしを求める人や、進学・就職のため若者が転出していしまうなどが考えられるほか出生数の低下も見られる。他には……
地域課題を受けて貴団体のすべき活動と、その活動を経て地域がどのような状態になることを目指すのか	団体の活動内容、地域の特色と課題を踏まえて、瀬戸内海地域の文化力向上にむけて貴団体のミッション(なぜその活動をするのか)、地域のビジョン(どのような状態を目指すのか)をご記入ください。 文字数制限内で簡潔に記入してください。

＜2026年度事業計画＞

1. 2026年度の活動概要

貴団体のミッション、地域のビジョンに対して、2026年度はどのような活動を行う予定か、概要を記入してください。

2.2026年度の具体的実行項目（目標を実現するために、いつ・どこで・何を実施するのか）

[illegible]

3. 2026年度の活動により期待される成果や効果はどのようなものですか？

またそれを測る具体的な客観的指標をお書きください。

※新規・一般助成、新規・挑戦的事業助成及び継続申請は必須、新規・若手助成は任意でご入力ください。

成果・効果	(ご回答任意) 活動を行うことによって、地域に生まれる変化や価値を記載してください。
客観的指標	(ご回答任意) 1年間の活動を自ら振り返る際に、成果を判断する際の指標や観点を記入してください。 例： 「イベントの来場者数〇人」などの数値目標 「自団体の活動に対して地域住民が自発的に参画している状態」などの状態目標

4. 貴団体が目指す地域の在り方を実現するために、これからの活動や体制をどのように発展させていくお考えか、今後3年間の具体的な計画や今後の見通しをお書きください。

地域振興活動は単年で達成できるものではなく、複数年のプロジェクトになることが想定されます。現時点の予定で結構ですので、活動のゴールイメージを明確にした中長期的な見通しをお書きください。

5. 今回の助成金でこれまでの事業をどのように発展させようとしているのかお書きください。

※継続申請は必須入力、新規・一般助成、新規・挑戦的事業助成、新規・若手助成は任意でご入力ください。

(ご回答任意)

申請される事業は、これまでの活動の積み重なりからどのように発展しているのかをお書きください。

6. 2026年度以降、複数年の助成を希望していますか？

(選択式) 申請時点の状況で結構です。

<活動内容が分かる画像>

これまで活動した内容がわかる写真や、申請書に記入いただいた事業内容がイメージできる資料を提出してください。

※1枚の写真であれば複数枚の写真を合体された画像でもかまいません。

※PDFを画像化したものも掲載いただけますが、縮小してアップロードされるため、文字は読めませんのでご了承ください。

簡単に資料の説明を記入してください。

--	--

--	--

申請助成金額	260千円
--------	-------

項目	内容	金額（千円）	備考
項目は選択式です(下記①～⑧)	内容や備考欄にて、申請時点で決まっている事をできるだけ詳しく記載してください。		
①謝金・委託費・人件費	調査依頼費	10	専門家1名
②旅費交通費	講師交通費	150	東京⇄直島
③通信運搬費	資料送付 郵送料	10	
④消耗品費	調査備品、木材など	10	
⑤広告宣伝費	イベント宣伝 フライヤー	20	制作費
⑥会場費	会場費	50	町民所有の空き家
⑦会議費	専門家との打ち合わせ	10	お茶代
⑧その他、諸経費			
合計		260 千円	

項目	内容	金額	備考（詳細）
助成金	福武財団	260 千円	
例)			
助成金			
補助金			
寄付			
事業収入			
自己資金			
その他			
合計			

- ・プロジェクトの活動の外注費が大きい場合や丸投げしている場合
- ・自団体メンバーやプロジェクトリーダーなど申請事業に関わるメンバーへの謝金・委託費・人件費

[illegible]

項目は選択式です。
事業全体における収入・支出を記載してください。
弊財団の助成金のみで予定している場合は、1行目以外は空欄になります。
収支は一致するようにご調整をお願いいたします。

~~<個人情報の取り扱いについて>~~

- 1) 申請に対する選考及び選考結果の通知
- 2) 助成決定後の諸手続きの連絡
- 3) Website、広報パンフレット等での助成者決定の公表（氏名、所属機関、職名、活動等の概要、助成金額）
- 4) 当財団内管理業務（成果報告、会計報告提出に関連する連絡業務など）
- 5) 当財団主催事業の案内